

秋でも脱水注意！

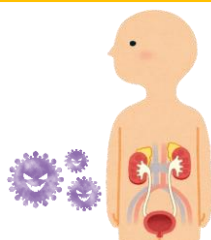
水分摂取の目安と尿路感染症予防



高齢者と脱水のリスク

これから涼しくなり、冬も近づいてきますが、汗をかいている実感がなくても体の水分は失われています。

特に高齢の方では喉の渴きに気づきにくくなりますので、**一日の必要水分量を意識した飲水が必要です。**



脱水と尿路感染

脱水で尿量が低下すると、細菌が尿道や膀胱に侵入しやすくなり、尿路感染のリスクが高まります。

患者さんの必要水分量をアセスメント・指導しましょう！

※食事中に含まれる水分量
約1000ml / 日



※病院で提供されている食事中の水分量は食事オーダー画面から確認できます

年齢	1日に必要な水分量
1歳	120～135ml × 体重
6歳	90～100ml × 体重
25～55歳	35ml × 体重
56～65歳	30ml × 体重
66歳以上	25ml × 体重

1日に飲むべき
水分量



心臓や腎臓の病気の治療・内服を行っている患者さんは医師と相談のうえ、水分摂取量を考えましょう。

バルン留置中の閉塞に注意！

膀胱留置カテーテルは留置期間が長期化するほど、細菌が発生しやすくなります。特に、カテーテルの中に**ドロドロ・ジャリジャリ**したものが見られた場合は細菌が**バイオフィルム**を形成している可能性が高く、**カテーテルの閉塞や抜去困難となり膀胱内や尿道を損傷する原因にもなります。**

尿量低下・閉塞が疑われた際は、**まずは必要な水分摂取が行えているかアセスメントし、不足時は水分摂取を促しましょう。**

また、**最低でも1か月に1回は医師と共に抜去検討・カテーテルの交換を行いましょう。**



感染管理認定看護師：当院を訪れるすべての患者さんと職員が感染症に脅かされず安心して医療を受けられる・提供できるよう活動しています。患者さんに使用されるデバイス（人工呼吸器・CV・膀胱留置カテーテル）による感染症発生状況の調査、感染予防についての取り組みも行っています。